

2019年度(2019年4月～2020年3月)  
公衆衛生看護学分野 業績

分野構成(2020年4月1日時点)

教授：大森純子、助教：藤崎万裕、松永篤志、助手：竹田香織、中野久美子、研究補佐員 1名  
大学院(博士課程) 4名、大学院(修士課程) 12名、卒業研究生 27名

主な研究テーマ

CBPR(Community Based Participatory Research)という研究スタイルを用い、保健師など保健行政の関係職種や住民の方々と一緒に、「地域への愛着」を育む健康増進プログラムの開発、「近隣住民間の交流促進プログラムの開発」などに取り組み、個人変容と社会変容に参画しています。

【主な研究テーマ】

1.文化と健康観・ヘルスプロモーションに関する研究/2.地域への愛着と健康に関するプログラム開発,地域への愛着を育む方法論(メソッド)開発/3.地域保健・福祉活動における協働方法と評価,理論の構築/4.教育活動・実践を通じた保健師養成・育成に資する研究/5.地域の高齢者見守り活動に関する研究/6.地域保健をめぐる政治・行政に関する研究/7.グローバルヘルスに関する研究

主な研究業績(2014年1月以降) ※2014年1月に分野新設のため

【主な研究論文】

- Yoshida K, Takizawa Y, Nishino Y, Takahashi S, Kanemura S, Omori J, Kurosawa H, Maemondo M, Minami Y. Association between Family History of Cancer and Lung Cancer Risk among Japanese Men and Women. The Tohoku Journal of Experimental Medicine. 2019;247(2):99-110.
- 高橋和子, 大森純子, 田口敦子, 齋藤美華, 酒井太一, 三森寧子. 首都圏近郊都市部の向老期世代の“地域への愛着”に関連する要因. 公衆衛生看護学会誌. 2018;7(2):80-90. (2019年度日本公衆衛生看護学会学術奨励賞(優秀論文部門))
- Chiu C, Nakano K, and Omori J. Workshop to promote patient-centered cross-cultural care among Japanese nursing students. Nursing English Nexus. 2018 Oct; 2(2), 6-12.
- 大森純子, 三森寧子, 小林真朝, 小野若菜子, 安齋ひとみ, 高橋和子, 宮崎紀枝, 酒井太一, 齋藤美華. 公衆衛生看護のための“地域への愛着”の概念分析. 日本公衆衛生看護学会誌. 2014; 3(1):40-48. (2016年日本公衆衛生看護学会学術奨励賞(優秀論文部門)受賞)
- Asahara K, Ono W, Kobayashi M, Omori J, Momose Y, Todome H, Konishi E. Ethical issues in practice: A survey of home-visiting nurses in Japan. Japan Journal of Nursing Science. 2013; 10:98-108. (2014年日本看護科学学会表彰論文優秀賞受賞)

【主な著書】

- 神馬征峰, 大森純子, 宮本有紀(編). 系統看護学講座 健康支援と社会保障制度②公衆衛生 第2章 公衆衛生の活動対象. 東京:医学書院; 2015. p45-60.

【主な学会発表】

- 大森純子. 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会大会長. 2017 Jan 21-22.
- 田口敦子. 地域包括ケアシステムにおける在宅医療の推進と住民ボランティアとの協働. 第78回日本公衆衛生学会総会; 2019 Oct 23-25, 高知. (第78回日本公衆衛生学会奨励賞受賞)
- 田口敦子, 鎌田彩希, 白川美弥子, 矢津剛, 神山芳美, 沖永美幸, 藤春千恵美, 佐伯由美, 菅野雄介, 深堀浩樹, 宮下光令. 在宅緩和ケアの質担保に向けたチェックリストおよび教育プログラムの開発(第2報)-チェックリスト使用前後の評価-. 第23回日本緩和医療学会学術大会; 2018 Jun 15-17, 神戸. (第23回日本緩和医療学会学術大会優秀演題賞受賞)
- 田口敦子, 三笠幸恵, 三森寧子, 小林真朝, 小野若菜子, 高橋和子, 酒井太一, 宮崎紀枝, 安齋ひとみ, 齋藤美華, 大森純子. “地域への愛着”を育む健康増進プログラムの開発 第1報 プログラムの作成と実施. 第4回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2016 Jan 23-24; 東京. (2016年第4回日本公衆衛生看護学会学術集会優秀ポスター賞受賞)

## 【研究業績（2019年度分）】

### 1. 原著論文・総説（査読あり）

- ・麻原きよみ, 小野若菜子, 大森純子, 橋爪さつき, 井口理, 池谷澄香, 小林真朝, 三森寧子, 宮崎紀枝, 長澤直紀, 佐伯和子, 留目宏美. 自治体で働く事務職と保健師がとらえる保健師の仕事に関する認識. 日本公衆衛生看護学会誌. 2019;8(2):80-88.
- ・大森純子, 梅田麻希, 麻原きよみ, 井口理, 蔭山正子, 小西美香子, 渡井いずみ, 田宮菜奈子, 村嶋幸代. 活動展開技法モデル「コミュニティ・アセスメント」の提案. 日本公衆衛生雑誌. 2019;66(3):121-128.
- ・倉田里衣子, 田口敦子, 松永篤志, 山内悦子, 浦山美輪, 永田智子. 外来における在宅療養支援に関する啓発ツールの開発と有用性の検討. 医療マネジメント学会雑誌. 2019;20(1):27-31.
- ・剣持麻美, 松永篤志, 田口敦子, 明珍千恵, 山内悦子, 浦山美輪, 永田智子. 循環器疾患をもつ在宅療養継続者に対する病院内の多職種連携による支援に関する質的研究. 日本地域看護学会誌. 2019;22(1):35-42.
- ・佐藤清湖, 森田誠子, 中野久美子, 大森純子. “地域への愛着”に関連する地域活動の文献検討. 東北大学医学部保健学科紀要. 2020;29(1):21-30.
- ・佐藤日菜, 田口敦子, 山口拓洋, 大森純子. 保育士による発達上「気になる子」の保護者への支援の実態と関連要因の探索：発達上の課題と伝達に着目して. 日本公衆衛生雑誌. 2019;66(7):356-369.
- ・田口敦子, 備前真結, 松永篤志, 森下絵梨, 岩間純子, 小川尚子, 伊藤海, 村山洋史. 文献検討に基づく介護予防サポーター養成プログラムの作成と効果. 日本公衆衛生雑誌. 2019;66(9):582-591.
- ・田口敦子, 村山洋史, 竹田香織, 伊藤海, 藤内修二. 地域保健に関わる住民組織の特徴と課題：全国市町村への調査. 日本公衆衛生雑誌. 2019;66(11):712-722.
- ・田口敦子, 森松薫. 地域包括ケアシステムの構築に向けた福岡県在宅医療推進事業における評価方法の見直し. 日本公衆衛生雑誌. 2019;66(10):649-657.
- ・Yoshida K, Takizawa Y, Nishino Y, Takahashi S, Kanemura S, Omori J, Kurosawa H, Maemondo M, Minami Y. Association between Family History of Cancer and Lung Cancer Risk among Japanese Men and Women. The Tohoku Journal of Experimental Medicine. 2019;247(2):99-110.

### 2. 著書

### 3. 原著論文・総説（査読なし）/紀要・解説

- ・大森純子, 竹田香織, 田口敦子, 津野陽子, 松永篤志, 中野久美子. 大学院における保健師基礎教育で学生が獲得する保健師リーダーの“資質能力”. 保健師ジャーナル. 2019;75(11):942-948.
- ・田口敦子, 村山洋史, 竹田香織, 伊藤海, 藤内修二. 全国調査によるソーシャルキャピタルの醸成・活用状況. 公衆衛生情報 2019;49(1):30-32.

### 4. 国際学会発表

- ・Hiroshi Murayama, Atsuko Taguchi, Takuhiro Yamaguchi. Effectiveness of a community health worker-based intervention in improving dietary habits among community-dwelling older people: A controlled, cross-over trial in Japan. GSA Annual Scientific Meeting 2019; Nov 13-17: Austin.

### 5. 国内学会発表

- ・青木さぎ里, 櫻井純子, 大野祐子, 五藤幸根, 佐藤清湖. へき地保健師間の交流や支え合いに向けた取り組み. 日本ルーラルナーシング学会第14回学術集会; 2019 Nov 9-10; 沖縄県 沖縄宮古総合実業高等学校

- ・姉崎沙緒里, 目麻里子, 野口麻衣子, 稲垣安沙, 津野陽子, 五十嵐歩, 大森純子, 山本則子. 地域在住高齢者の「地域生活に関する安心感」に関する質的研究 Social Community Nurses の活動に着目して. 第 39 回日本看護科学学会学術集会; 2019 Nov 30- Dec 1; 石川
- ・安保寛明, 佐藤志保, 今野浩之, 井上京子, 遠藤恵子, 菅原京子, 後藤順子. 小規模病院等看護職への看護研究に関するニーズと課題—地元ナース養成プログラムのリカレント教育と看護研究相談支援事業の横断的検討. 第 45 回山形県公衆衛生学会; 2019 Mar-7; 山形県 山形県立保健医療大学
- ・伊藤海, 田口敦子, 大森純子, 村山洋史. 豪雪地域在住高齢者への生活支援の担い手に関する実態 (第 2 報). 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 2019 Oct 10-12; 高知
- ・岩本萌, 渡井いずみ. 大規模地震での保健活動経験をもつ被災地の管理期保健師が派遣時に行った災害支援活動. 第 22 回日本地域看護学会学術集会; 2019 Oct 17-18; 横浜
- ・大森純子, 麻原きよみ, 佐伯和子, 小野若菜子, 田口敦子, 三森寧子. 質研塾: 公衆衛生看護学の知の創造を支えるアートとしての質的研究とは~thick description としての実践科学の発展について考える~ (ワークショップ). 第 7 回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2019 Jan 26-27; 山口
- ・木村絵美, 松永篤志, 田口敦子. 高齢者見守り活動における活動内容と特徴の整理. 第 22 回日本地域看護学会学術集会; 2019 Aug 17-18; 横浜
- ・今野浩之, 槌谷由美子, 渡邊礼子, 佐藤志保, 高橋直美, 井上京子. 小規模病院等ブラッシュアッププログラムの「大学受講」と「ICT 受講」の比較—講義参加度・内容理解度・講義満足度—. 第 45 回山形県公衆衛生学会; 2019 Mar-7; 山形
- ・目麻里子, 姉崎沙緒里, 野口麻衣子, 津野陽子, 稲垣安沙, 五十嵐歩, 大森純子, 山本則子. Social Community Nurses(SCNs)が自治会等の地域組織と協働して活動するためのプロセスの明確化. 第 39 回日本看護科学学会学術集会; 2019 Nov 30- Dec 1; 石川
- ・佐藤志保, 菅原京子, 高橋直美, 今野浩之. 山形発・地元ナース養成プログラムにおけるリカレント教育効果—履修証明プログラム修了生の組織への貢献—. 第 39 回日本看護科学学会学術集会; 2019 Nov 30- Dec 1; 石川
- ・嶋津多恵子, 梅田麻希, 米倉佑貴, 川崎千恵, 遠藤直子, 永井智子, 三森寧子, 江川優子, 小林真朝, 佐伯和子, 大森純子, 永田智子, 佐川きよみ, 小西美香子, 麻原きよみ. 全国自治体における地区担当制および業務担当制に関する業務体制のメリットの認識. 第 7 回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2019 Jan 26-27; 山口
- ・高橋恵子, 朝澤恭子, 有森直子, 亀井智子, 麻原きよみ, 菱沼典子, 新福洋子, 大森純子. People-Centered Care パートナリシップの関連要因 医療系大学が地域に開く市民健康情報サービス事業を対象に. 第 24 回聖路加看護学会学術大会; 2019 Sep 14; 東京
- ・高橋由香, 津野陽子, 大森純子. 健康経営を促進する「健康的な職場文化」の指標に関する文献レビュー. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 2019 Oct 23-25; 高知
- ・田口敦子, 伊藤海, 大森純子, 村山洋史. 豪雪地域在住高齢者への生活支援の担い手に関する実態 (第 1 報). 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 2019 Oct 10-12; 高知
- ・土谷瑠夏, 田口敦子, 松永篤志, 村山洋史. 農業地域在住の壮年期住民におけるロコモティブシンドロームの実態と関連要因の検討. 第 22 回日本地域看護学会学術集会; 2019 Aug 17-18; 横浜
- ・豊川幸世, 田口敦子, 山内泰子, 山内悦子, 松永篤志, 劔持麻美, et al. 在宅療養者に対する外来看護師の電話による支援の実施状況と支援内容の実態. 第 22 回日本地域看護学会学術集会; 2019 Aug 17-18; 横浜
- ・永井智子, 梅田麻希, 米倉佑貴, 川崎千恵, 嶋津多恵子, 遠藤直子, 三森寧子, 江川優子, 小林真朝, 佐伯和子, 大森純子, 永田智子, 佐川きよみ, 小西美香子, 麻原きよみ. 保健活動の体制と保健師の道徳的能力、職業アイデンティとの関連: 全国自治体における横断調査. 第 7 回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2019 Jan 26-27; 山口
- ・永井智子, 米倉佑貴, 梅田麻希, 麻原きよみ, 川崎千恵, 小林真朝, 嶋津多恵子, 遠藤直子, 大森純子, 三森寧子, 江川優子, 永田智子, 佐伯和子, 佐川きよみ, 小西美香子. 保健師の地域/地区活動評価のための尺度開発. 第 78 回日本公衆衛生学会総会; 2019 Oct 23-25; 高知

- ・西沢義子, 野戸結花, 太田勝正, 作田裕美, 大森純子, 青木和恵. 放射線看護モデルシラバスの活用に向けて シラバスの解説と意見交換. 第8回日本放射線看護学会学術集会; 2019 Sep 28-29; 福島
- ・林英里香, 津野陽子, 中野久美子, 大森純子. 成人期発達障害者の困りごとに関する文献検討. 第7回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2019 Jan 26-27; 山口
- ・村山洋史, 田口敦子, 児玉康子. 豪雪地域在住高齢者の生活支援ニーズの実態. 第78回日本公衆衛生学会総会; 2019 Oct 10-12; 高知
- ・若山好美, 小澤涼子, 吉田礼維子, 針金佳代子. 修士課程におけるケアシステムを構築する能力の獲得を目指した公衆衛生看護実習. 第8回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2020 Jan11-12; 松山
- ・渡光子, 今松友紀, 藤田美江. 生活支援に着目した地域包括ケアシステム構築上の課題と方策ー専門職者の視点からー. 第7回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2019 Jan 26-27; 山口

6. 外部資金獲得 (主任研究) ※2019年度の新規獲得のみ (継続分は昨年度報告済み)

- ・大森純子 (主任研究者) 社会的包摂を志向する公衆衛生看護の原理に基づくロジック・モデルの開発. 令和元年度科学研究費補助金 (基盤研究(B)). 2019 Apr -2024 Mar.
- ・今野浩之 (主任研究者) 社会資源が限定的な地域における精神障がい者のリカバリーを促進する支援モデルの検討. 令和元年度科学研究費補助金 (若手研究). 2019 Apr -2021 Mar.

7. 外部資金獲得 (分担研究) ※2019年度の新規獲得のみ (継続分は昨年度報告済み)

.

8. 外部資金獲得 (その他) ※2019年度の新規獲得のみ (継続分は昨年度報告済み)

.